

政策課題対応経費

Funds for Subjects Related to Policies

政策課題対応経費は国立大学として緊急に対応し、かつ、社会に対して早急な成果の発信が望まれる取り組みへの支援を目的とします。本学からは下記のプログラムが採択されました。

国際性豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成

取組責任者：医学部長 大野喜久郎 教授

現代的教育ニーズ取組支援プログラム「国際的医療人育成のための先駆的教育体系」で達成される「国際化へ対応するための準備教育」の成果を踏まえ、「国際水準の臨床および研究教育」を行う取組です。

具体的には

- (1) ハーバード大学でのクラークシップ・プログラムへの参加
- (2) 本学のクラークシップ・プログラムの内容充実および環境整備

(3) 海外提携大学における研究および発表体験

からなり、実際には、医学部医学科 6 年生が正規のカリキュラムの一環として米国ハーバード大学医学生と共に臨床実習を行い、4 年生が英国インペリアルカレッジで研究に従事するプログラムが実動しています。

また、ハーバード大学から臨床実習の指導員を招聘して、本学教員と共にクラークシップの改善に取り組んでいます。

